

川の流れはどこから流れているのかな？

東久留米市立第十小学校5年葛岡 翔空

きっかけ 学校では黒目川について学習しました。平成の名水百選に選ばれている落合川を学校では学ばなかったので調べようと思ったからです。

予想 上流では土地が高く流れは速く生物はいないと思う。中流では土地が少し低く流れは少しゆっくりで生物は少しいると思う。黒目川と合流しているところでは土地が低く流れは速く生物はいない。川はおぼろげに広く深いと思います。

方法 <調べる場所>
 ・南沢緑地・いこいの水辺・黒目川の合流地点
 ・落合川の湧水
 <調べることと調べ方> (保護者といっしょに行う)
 ・水の深さ… 入って体のどこまでが水につかるか。
 ・流れの速さ… 葉を流してはやすさをかか。
 ・生物… いるか見てみる。
 ・水の質… 1リットルボトルに水を入れて調べる。
 ・におい… 水をかいで調べる。



黒目川と落合川の地図



7 黒目川と落合川の合流地点

5 下流の湧水



6 立野予川



1 南沢浄水場



ここから家へ水を運んでいます。

3 氷川神社



カモ



中流に向かうときカモの親子を見つけました。

2 南沢湧水

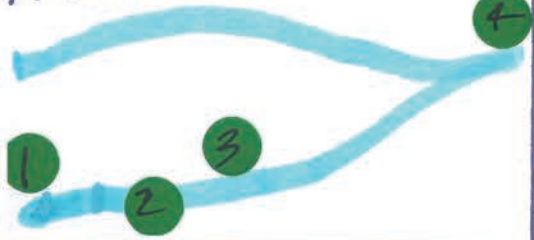


昔は大きな石やコンクリートで荒れはてていたが今は今はな森にすまは。

4 いこいの水辺



ここは川が深く、川へ飛びこんで遊ぶことができます。



- ① 落合川の上流
- ② 南沢湧水
- ③ いこいの水辺
- ④ 黒目川と落合川の合流地



水の深さ	水の質	生き物	流れの速さ	におい	特ちょう
<p>水がない</p>		<p>草はがれている</p>	なし	X	湧水がこがっているため植物はかれています。くぼんだところは雨水がたまっていました。
<p>足首とひざの間</p>	<p>冷たいのでけつろとうめい</p>	<p>ナガエミクリ シジュウカラ オйкаワ</p>	1m =4秒	X	南沢水辺公園は2011年3月11日の東日本大震災により自由に外遊びができない子どもたちが集う場所であることを目的につくられました。自然が豊かなので、虫たちもたくさん住める場所です。
<p>ひざくらい</p>	<p>とうめい</p>	<p>モツゴ ゴイサキ アメリカザリガニ カルガモ ドジョウ</p>	1m =4秒	X	たくさんの方がやってくる場所です。昆虫や鳥もいます。水草もたくさん生息しているのので、いこいの水辺はきれいということがわかります。
<p>こしくらい</p>		<p>モツゴ コイ アブラハヤ</p>	1m =8秒	X	いちばん深いのでアブラハヤをつることが出来ます。

研究のまとめ

研究で分かったことは深さは下流のほうが深かったです。標高の高さは資料で調べてみると思ったとおり上流のほうが高かったです。水の質は、おき水は地下からしみ出るので冷たかったです。生き物は中流にたくさんいました。流れは上流のほうが速かったです。においはどこでもありませんでした。上流は資料で調べてみるとおき水ではなく、現在はこがっているため雨水だと知ってびっくりしました。予想とくらべてみると生き物は中流にしかいないと思っていましたが、調べてみると上流や下流にもいて種類は中流が多かったです。水の質は人がたくさん住んでいたりと、魚が住んでいるところはあまりありませんでした。武蔵野台地は水はけがよく、この水はほんらんが比較的、小規模であることが推測されます。水が多いにもかかわらず、この水はほんらんが、少ない地形がすごいと思いました。また南沢湧水群ではナガエミクリをたくさん見られます。このナガエミクリは流れがあってきれいな川で育つそうです。湧水が流れこんでいる落合川はいこい、こちりいいところだと分かりました。以前はとてもきたない川でしたが、今はきれいな川になりました。ボランティアの人たちが自然を守る活動をしてきているので自分も川のためにできることをしようと思いました。



南沢湧水

水生公園

参考資料

「黒目川・落合川、湧水マップ」(発行所)東京留米湧水・河川フォーラム実行委員会 (事務局)東京留米市都市部計画部公園緑地課
 「みんなの南沢水辺公園(発行製作)南沢水辺公園のなごまたち (発行年) 10周年記念誌」 東京留米ロータリークラブ 2014年9月日